

サウジアラビア

主要データ

国名〔英名〕	サウジアラビア王国〔Kingdom of Saudi Arabia〕
面積(km ²)	2,149,690
海岸線延長(km)	2,640
人口(百万人)	26.1
人口密度(人/km ²)	12.1
GDP(百万US\$)	443,691
一人当りGDP(US\$)	16,996
主要鉱産物：鉱石	金、銀、銅、亜鉛、ボーキサイト、ニオブ、タンタル、レアアース、錫、タングステン等
主要鉱産物：地金	金、銀、鉛
鉱業管轄官庁	Ministry of Petroleum and Mineral Resources (MPMR)
鉱業関連政府機関	Deputy Ministry for Mineral Resources (DMMR) Saudi Geological Survey(SGC)
鉱業法	鉱業投資法(Mining Investment Code)(2004年発布、2005年発効)
ロイヤルティ	なし
外資法	外国投資法(2000.4制定)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	General Environment Law
鉱業公社	Saudi Arabian Mining Co. (Ma'aden)、National Mining Company(NMC)
鉱業活動中の民間企業	National Gypsum Company、Saudi Ceramics Company、London Mining plc.
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	2004年鉱業投資法制定後、手続きが簡素化され、鉱物資源分野では外資100%投資が可能となったものの、2008年に英国法人等の申請したレアアース鉱床の探鉱権の延長・再交付が認められていない等の問題も生じている模様である。
2010年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2011年7月、Barrick Gold社(加)は、Equinox社が権益の70%を保有していたJabal Sayid銅プロジェクトを買収した。同プロジェクトは2012年生産開始である。 ・ 2009年12月に国営鉱物資源会社Ma'aden及びAlcoa社は中東発のアルミニウム生産一貫事業のためのJV設立に合意し、2013年の生産開始を目指して2010年10月に建設工事が開始され、2010年11月には金融機関との190億US\$のファイナンスが合意された。なお、2011年8月、同社は総事業費108億US\$と発表している。

1. 鉱業一般概況

サウジアラビアは、世界最大の産油国かつ石油輸出国であり、原油埋蔵量は世界の20%と最大を誇り、経済的にも中東・北アフリカ地域(MENA)最大の経済大国である。一方で、経済における石油依存度が高すぎる状況を自由経済区の創設など経済の多角化で解決しようとしている。

鉱物資源については、金、銀、銅、亜鉛、ボーキサイト等の鉱床の賦存が確認され、一部鉱山開発・生産が開始されるなど、鉱物資源国としても注目されつつある。近年ではニオブ、タンタル、レアアース、錫、タングステン等のレアメタルについても賦存が確認されている。

同国では、鉱物資源開発の担い手として、1997年に国王勅令により世界クラスの資源企業となることを目的として Ma'aden 社が設立された。同社は 2008 年に IPO に成功し、これまで 5 鉱山を開発して金、銀、銅、亜鉛、鉛を生産してきた。2007-08 年にはサウジ基礎産業公社 (SABIC) との JV による硝酸肥料プロジェクトを成功させた。

2009-10 年には Alcoa とのアルミニウム一貫生産事業に着手した (権益比率: Ma'aden 社 74.9%、Alcoa 社 25.1%)。第一期 (アルミ 74 万 t/年、アルミ圧延製品 25~46 万 t/年) は 2013 年に生産開始を予定しており、2010 年 10 月に東海岸の Raz Az Zawr に精錬所と圧延工場の建設を開始した。また、第二期 (ボーキサイト 400 万 t/年、アルミナ 180 万 t/年) は 2014 年に建設を開始する予定である。また、同プロジェクトは、総事業費 108 億 US\$ と発表されており、2010 年 11 月には金融機関との 190 億 US\$ のファイナンスに合意している。

また、Tertiary Minerals 社 (英) が探査を行ってきた同国北西部 Ghurayyah プロジェクトでは 2003-06 年の FS において、タンタル、ニオブ、レアアースなどの相当量の資源量が確認されている。今後サウジ資本 2 社との JV による追加探鉱・開発が行われる予定であるが、2008 年に申請された探鉱ライセンスの延長・再発行は 2011 年 7 月時点で未だ認められていない。

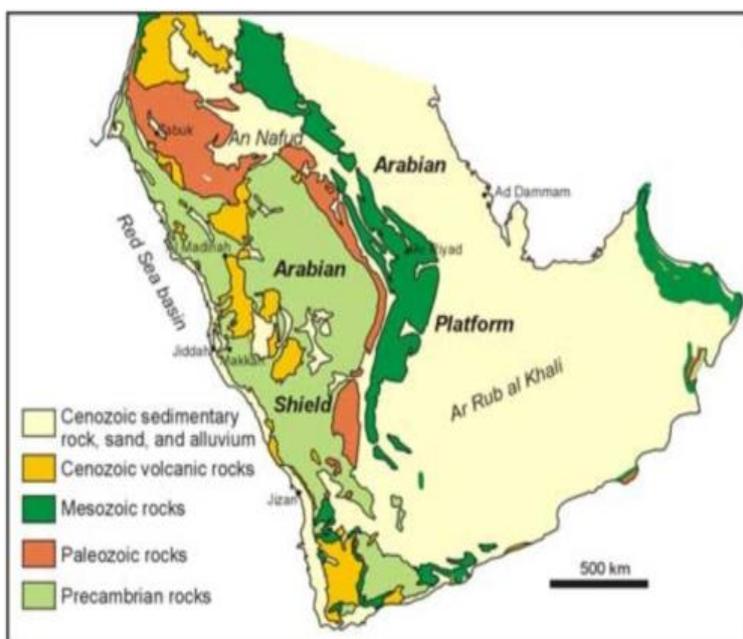


図 1 サウジアラビアの地質構造
(出典: サウジ地質調査所 HP)

2. 鉱業政策の主な動き

2010 年の同国の鉱業政策に特段の動きはない。

同国では、外資導入による産業の活性化を図るため、2000 年に新外国投資法が制定され、石油の探鉱・開発・生産等一部の外資参入禁止業種 (ネガティブリスト) を除き、原則として外資 100% 新会社の設立が可能となった。本改正により、鉱物資源の探鉱・開発・生産については、外資 100% の新会社設立が認められることになった。また、2005 年 11 月の同国 WTO 加盟が契機となり、外資参入規制も徐々にではあるが緩和されている。

さらには 2004 年に旧鉱業法が改正され、鉱業投資法 (Mining Investment Code) が発効した。同法では、鉱物資源の探鉱、開発、生産に係る手続きが簡素化され、鉱物資源副省 (DMMR) に一本化されるとともに、外資と国内資本が同等に扱われ、外資 100% 資本による鉱区取得、探鉱、開発が可能となった。

なお、外国資本に係る法人税は 20%、探鉱ライセンス料は最高 10.1 万 SAS (約 2,700US\$)/km²/年であるが、生産段階の鉱業税、ロイヤルティを支払う必要はない。また、配当金は全額本国に送金可能である。なお、石油探鉱、掘削、生産等の業種、卸売・小売業などは外資 100%法人の参入ができない状況が続いている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	3.6	1.7	1.5	-11.8
金(t)	4.5	4.4	4.4	0.0
銀(t)	8.2	6.9	8.1	17.4

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2011)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
再生鉛(千 t)	48.0	48.0	48.0	0.0

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2011)

(3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
アルミニウム(千 t)	95.0	94.9	95.0	0.1
銅地金(千 t)	159.6	159.6	159.6	0.0
鉛地金(千 t)	54.9	51.6	53.4	3.5
亜鉛(千 t)	32.7	38.5	44.0	14.3

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2011)

(4) 主要金属輸出货量

データなし

(5) 主要金属輸入量

World Metal Statistics Yearbook 2011 によれば、銅地金の輸入が 2006 年に 15 万 9,800t となっているが 2007 年以降の値は集計されていない。

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益 : %)	鉱種	生産量	備考
Mahd Ad Dhahab	Ma' aden (100)	金 (千 oz)	28.2	生産量 : 2008 年
		銀 (千 oz)	130.0	
		銅 (千 t)	0.66	
		亜鉛 (千 t)	1.2	
		鉛 (千 t)	0.2	
Bulghah	Ma' aden (100)	金 (千 oz)	51.0	生産量 : 2008 年
		銀 (千 oz)	5.0	
Al-Hajar	Ma' aden (100)	金 (千 oz)	-	生産量 : 2008 年
Al-Amar	Ma' aden (100)	金 (千 oz)	39.0	生産量 : 2008 年
		亜鉛 (千 t)	4.9	
		銅 (千 t)	0.8	
Sukhaybarat	Ma' aden (100)	金 (千 oz)	18.0	生産量 : 2008 年
		銀 (千 oz)	2.0	
Jabal Sayid	Equinox Minerals Ltd (70)、 Central Mining Investments Ltd (30)	銅 (千 t)	-	・ 2012 年 H2 生産開始予定 ・ 銅の年間生産量 5.8 万 t (見込み)
		亜鉛 (千 t)	-	
		金 (千 t)	-	
		銀 (千 t)	-	

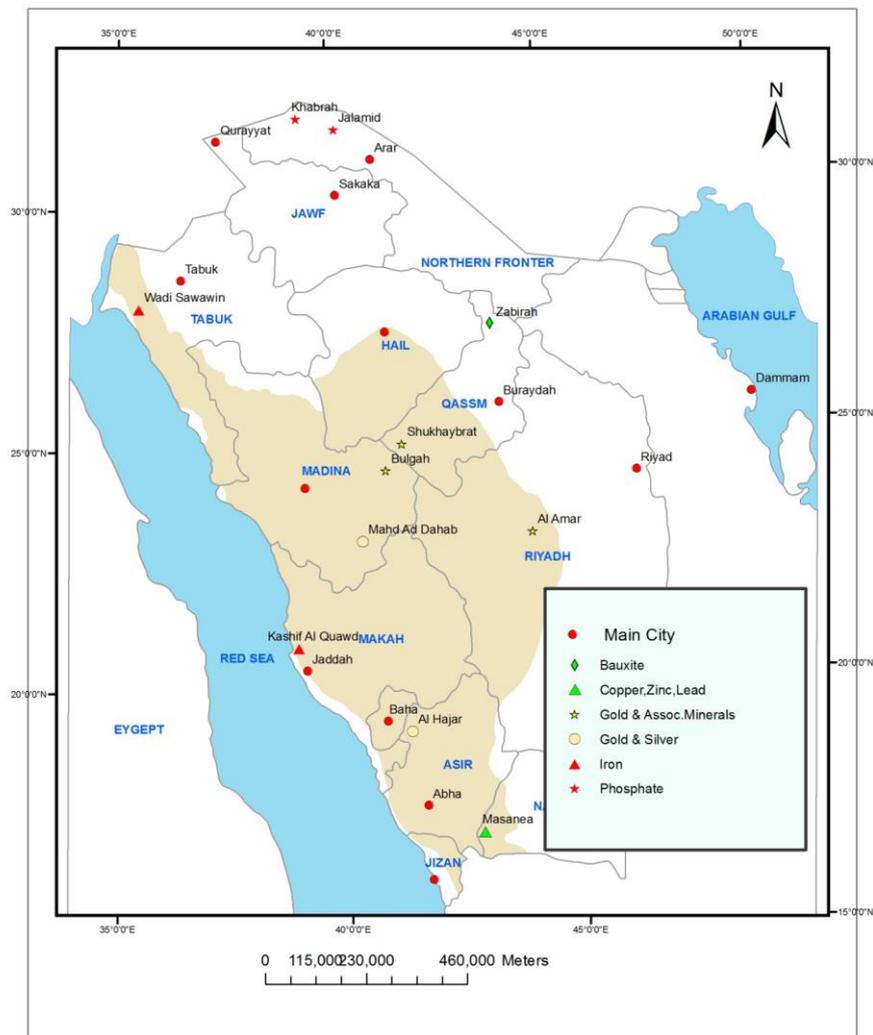


図 2. 主要鉱山位置図
(出典: 2008 年 DMMR 年次報告書)

5. 探鉱状況

- ・ 同国北西部 Ghurayyah プロジェクト(Tertiary Minerals(英)100%)では、2002年からの探鉱活動によりタンタル、ニオブ、レアアース、ジルコニウム等の賦存が確認された。今後、Tertiary Minerals(権益50%)、AH Algozaibi Bros Co(権益25%)及びAl Nahala Trading & Contracting Co(権益25%)の3社で更なる探鉱・開発を行う予定であるが、2008年に申請した探鉱ライセンスの再発行が認められていないため中断中である。
- ・ 2010年6月、同国北西部のWadi Sawawin 鉄鉱石プロジェクトのFSの結果として、資源量2億4,800万t(Fe品位39.8%)、年生産量500万t、マインライフ21年等のデータが公表された。今後London Mining社(英)25%、National Mining Company(NMC)75%で2013年Q2生産開始を目指して更なる試掘、開発移行が行われる予定である。

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

日本への精鉱及び地金輸出货量(マテリアル量)

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年比増減(%)
フェロシリコンマンガン(千t)	-	0.29	1.77	300.4
銅(含黄銅青銅)屑(千t)	4.3	3.1	10.9	251.6
アルミニウム地金(t)	-	-	3.5	-
アルミニウム合金(千t)	0.46	0.55	3.05	454.5
アルミニウム(アルミニウム合金を含む)屑(千t)	4.3	1.7	2.4	41.2

(出典：財務省貿易統計)

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

(2011.8.2 ロンドン事務所 萩原崇弘)